



学校だより

令和4年10月28日

ひびき 11月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

全員揃った運動会

校長 大塩 啓介

新型コロナウイルス感染状況が少し落ち着きを見せ、今年度の運動会は全校児童が一堂に集って、互いの競技、演技を見ることができそうです。

思い起こせば一昨年、新型コロナウイルス感染が始まった年には、学年ごとの開催で、保護者の方一名での参観となってしまいました。昨年度は、当初2学年ずつ実施して、保護者の方にもご参観いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染状況の悪化に伴い、一昨年度と同じ形になりました。ただし、参観者はご家庭2名ずつにさせていただきました。

今年度は、会話を伴わない屋外でのマスクの着用は不要という政府見解も出ており、感染状況も落ち着いてまいりましたので、全校が一斉に集うことといたしました。しかし夏頃、感染状況からはとても心配していました。ただ、だんだんと時間が経てば収束していくという見通しも立てられるようになりましたので、そのままを進めることとしました。

本校は児童数が750名を超えていますので、児童は全員で参観しますが、児童の競技・演技は半分ずつのご家庭でご覧いただきます。前半低学年、後半高学年です。保護者の方は2名ずつということは、昨年度と変わりません。

少しずつですが、以前の形に戻りつつあります。しかし、昼食をどうするかなど、今後に向けた課題はまだあり、元の形に戻れるかどうか不透明です。運動会当日の、ご家族ごとの昼食に関しては、市内のほとんどの学校はまだ行っていません。もし今後それが続くのならば、午前中だけという制約の中、運動会はどういう形が良いのかということも含めて、今後の在り方を模索しています。

学校の行事は、個別支援級の宿泊体験学習が中止になり、遠足に変更して年度内に行いますが、他の遠足・宿泊行事については予定通り行われています。5月頃、他校の宿泊体験学習で、児童が一時行方不明になったことが報じられました。既に3年間のブランクがあり、元のように行う難しさを改めて感じました。学校は、児童も先生も3年ぶりということをしかりと認識し、毎年やっていたことを当たり前のようによく戻すのではなく、無理なく丁寧に進めてまいりたいと思います。そして、運動会も少しずつですが、元の活動に近づけられるようにしていきたいと思います。